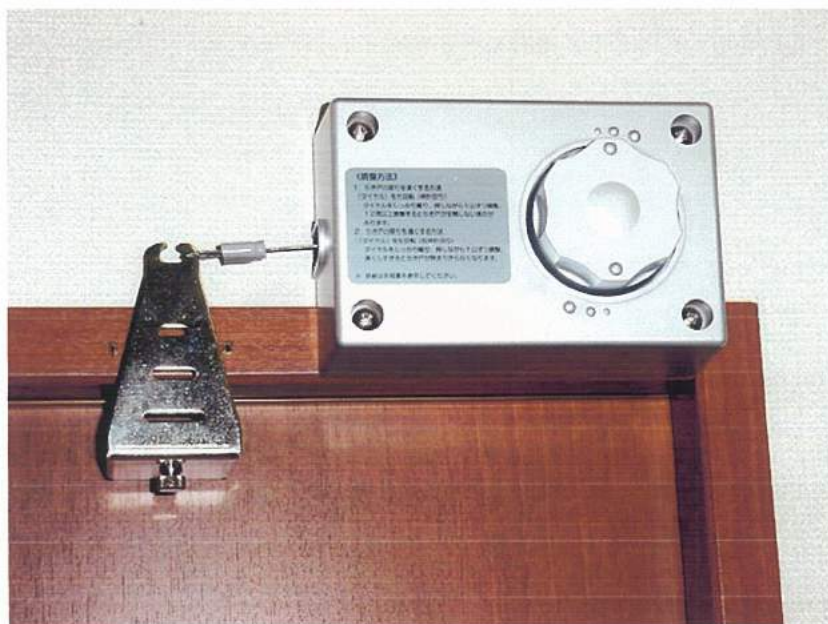
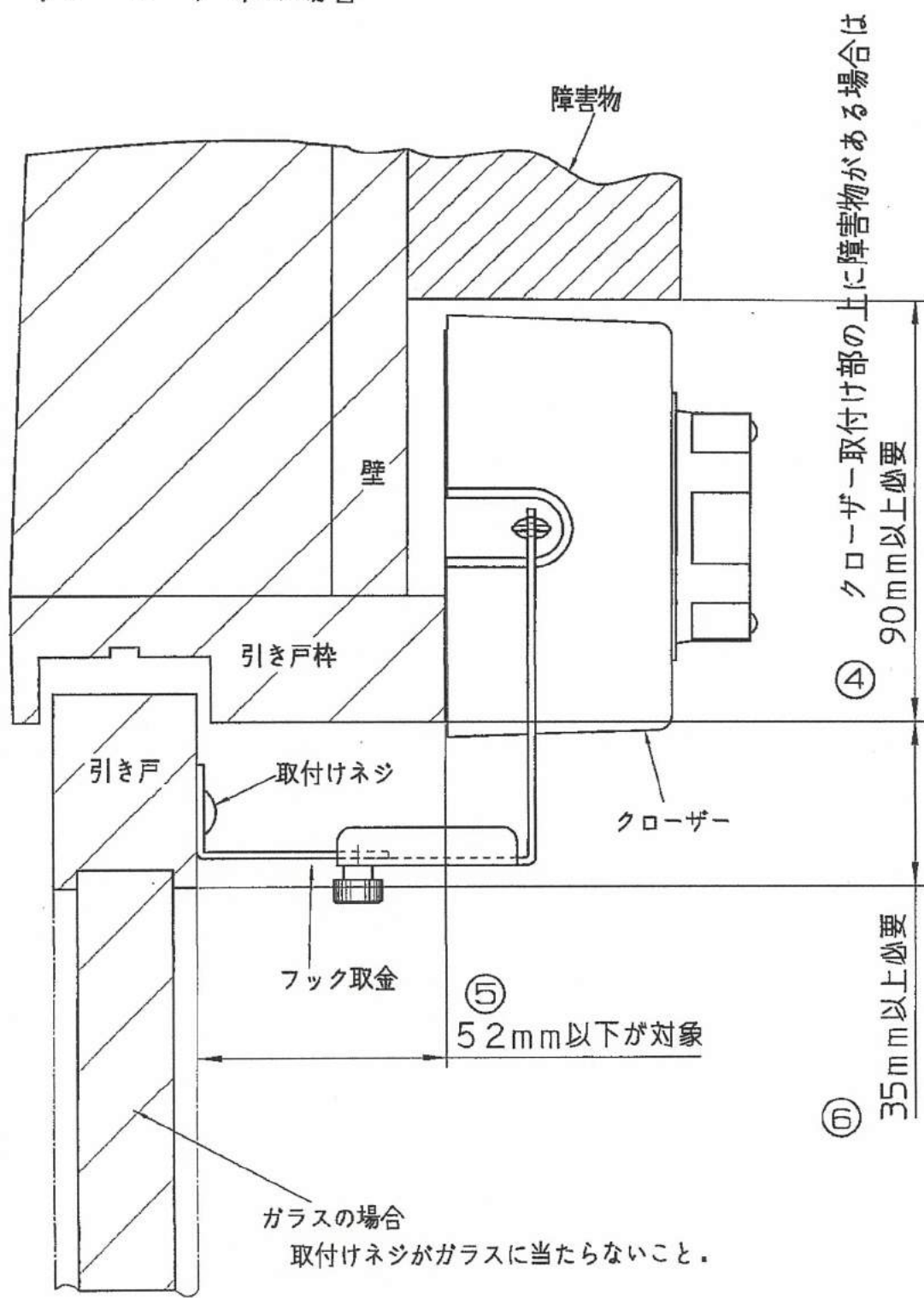


## スライドクローザー『そろり』を取り付けできる引き戸について

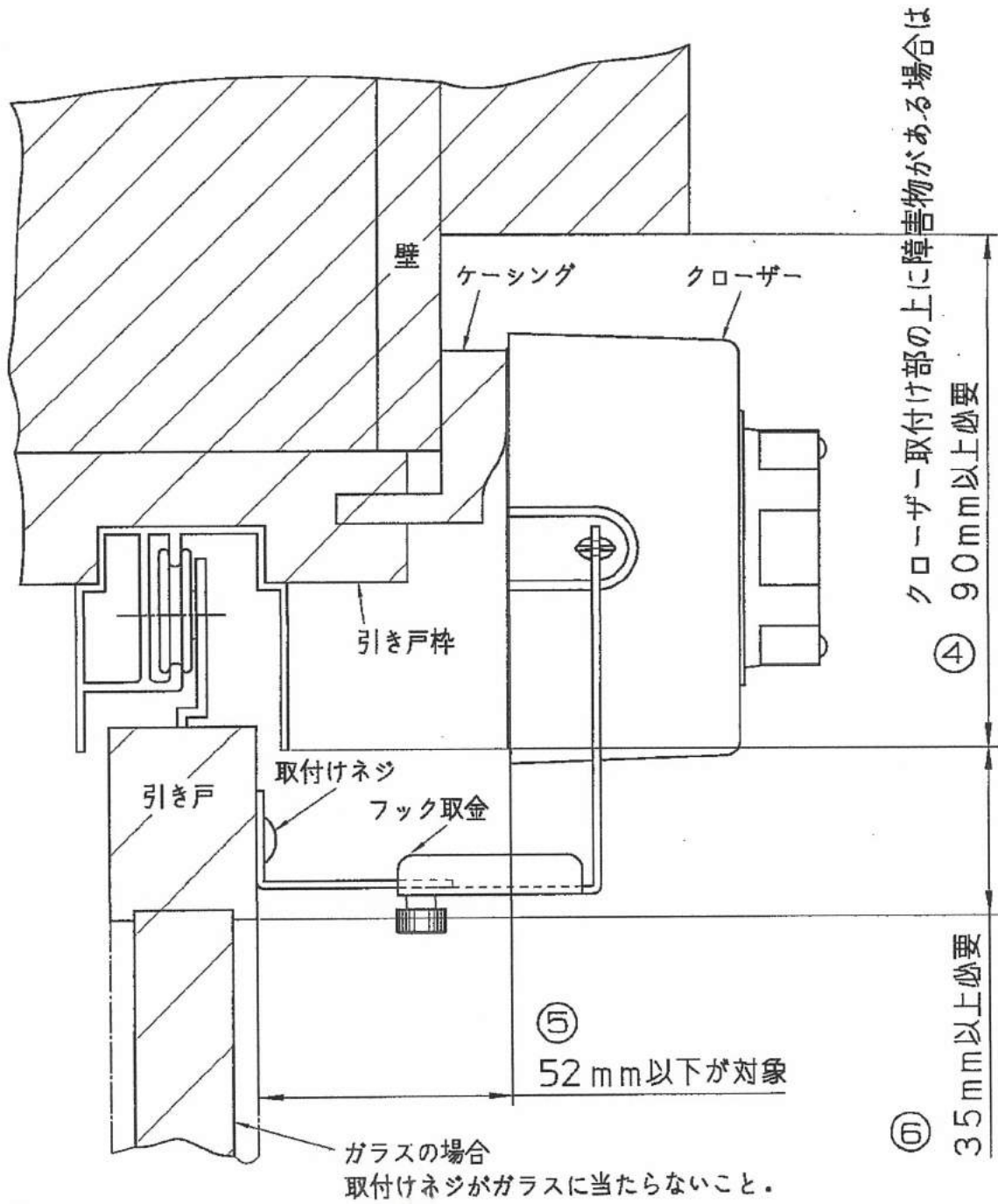
- ① 引き戸の重さは25kgまで（但し、引き戸を開ける力が0.7kg以下であれば取り付け対象です）
- ② Vレール、吊り戸、戸車仕様のものが対象です。ただし長年ご使用になって回転部分の磨耗の激しい場合（引き戸が重いもの）は戸車を交換してからお取り付けください。又、レール部に損傷のないことを確認してください。
- ③ 引き戸の移動の幅が1,200mm以下が取り付け対象です。
- ④ クローザー取り付け部（引き戸枠上部）に90mm以上のスペースが必要です。（図参照）
- ⑤ 引き戸の面からクローザー取り付け面までの寸法が53mm以上では取付できません。（図参照）、但し、ワイヤーをかける「フック」を曲げていただくことにより70mm程度までは取り付け可能です。又、玄関引き戸（アルミ製）の場合もフックの曲げ加工が必要です。
- ⑥ 引き戸がガラス入りの場合はフック取り付け板の取り付け部の幅が35mm以下では取り付けできません。（図参照）
- ⑦ クローザーの取り付けは、引き戸のある側に取り付けします。又、収納タイプ（引き込み戸）の引き戸は取り付けできません。
- ⑧ 浴室等の湿気の多い所への取り付けは、トラブルの原因となりますので取り付け不可とします。（玄関引き戸の場合、外側に取り付けになる場合には、風雨にさらされて故障の原因となります）
- ⑨ 敷居（敷居すべりが付いていても）仕様のもは対象外です。
- ⑩ 玄関サッシにも取り付け可能です。但し、砂や埃、水等の影響を受けやすい場所につきましては定期的な清掃を必要とします。
- ⑪ 外気が0℃以下になる環境下でのご使用は引き戸抵抗が大きくお勧めできません。



Vレール・戸車の場合

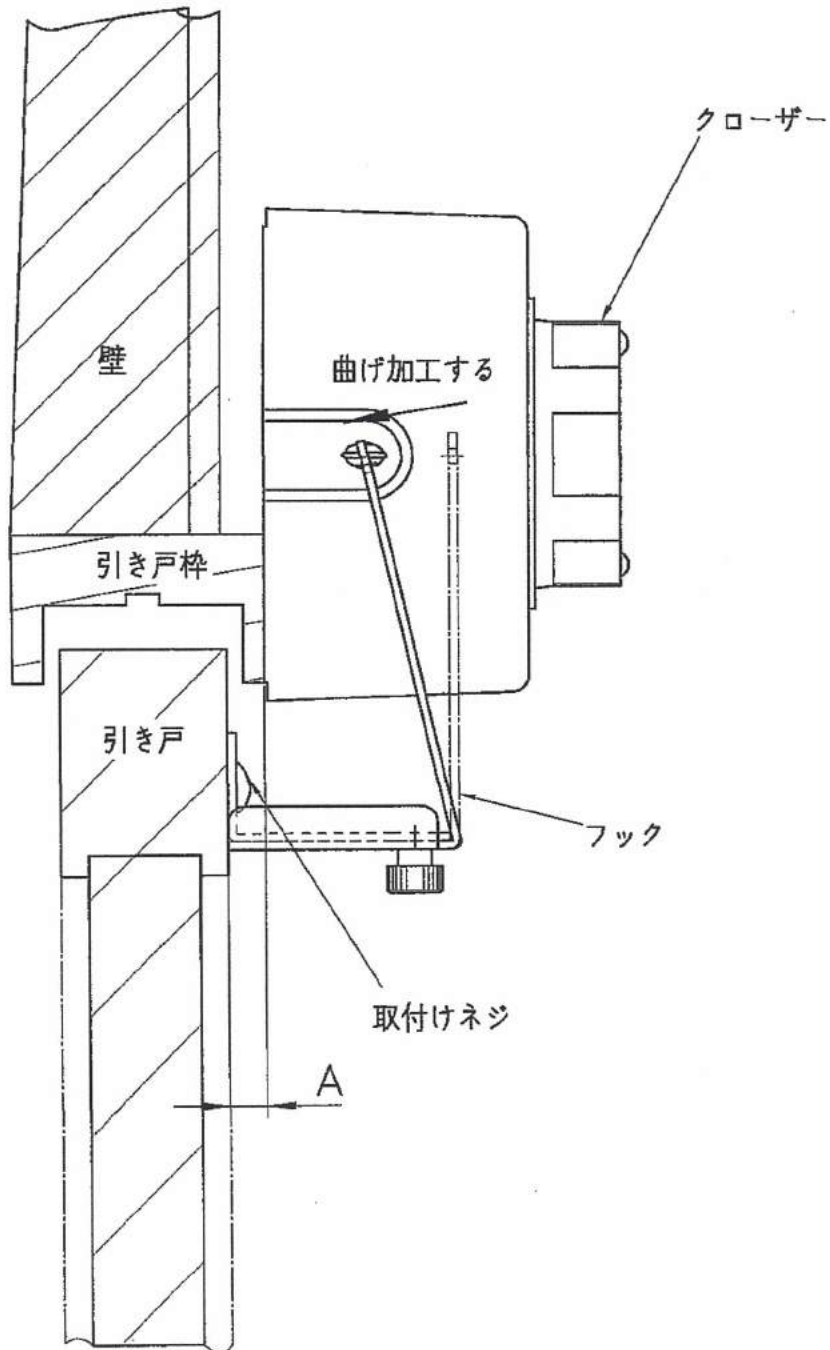


吊り戸の場合



### A寸法が極端に小さい場合の取付方法

フックを曲げ加工します。(ワイヤー引き出しロセンターまで)



A寸法が52mmより大きい場合の取付(70mmまでが限界)

フックを曲げ加工します。(ワイヤー引き出し口センターまで)

